

推薦調書（アイデア部門）（注 1）

推薦都道府県

静岡県

地方公共団体名	浜松市		
アイデア名称	デジタルを活用したサステナブルな共助型社会の実現		
連携自治体、企業、団体等			
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	（種類）（注 2）	①	（左記が①の場合の分野） 交通、物流
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルを活用し、人と人、人と物を繋ぐことで、地域課題を解決する地域エコシステムを確立し、サステナブルな共助型社会の実現を目指す。 ○ 地域エコシステムにより人や物の移動ニーズに対応できる人や資源を登録し、移動したい・させたい人や物をデジタルの力でマッチングさせる。 <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜松市では、2019年10月に「デジタルファースト宣言」を行い、2021年3月に「デジタル・スマートシティ構想」を策定。 ○ デジタルの活用を手段の一つとして捉え、多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、「浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例」制定に向け、令和4年5月定例会に提案（令和4年7月1日施行予定）。 ○ 人口減少や急激な高齢化など社会の激変の中、デジタルを活用し、サステナブルな共助型社会の実現を目指している。 <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域コミュニティ内の繋がり強化。 ○ 移動手段が制約されている中での住民移動ニーズへの対応。 ○ 地域住民のウェルビーイングの実現、地域貢献感・所属感の充実。 		
デジタルの活用により目指す成果（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共助型交通の導入（モデル2地区での導入） ○ 住民の自治会加入率の維持（96.0%） ○ Well-being 指標における市民の幸福度向上 ※該当指標や数値は現在検討中 		

<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>※コロナ禍において影響を受けた飲食店への支援及びデュアルモード社会に対応したデリバリープラットフォームを令和3年度に構築。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デリバリープラットフォームの配送の担い手について、現在のタクシー事業者だけでなく、新聞販売店や車両を保有する企業及び子育てNPO等を配送パートナーとして拡大する点。また、現在の飲食店の商品だけではなく、スーパーマーケットの商品や農協の野菜等に拡大し、高齢者の買物支援や、商店の空白地域への配送など、社会課題の解決及び市民の利便性向上に繋がるような活用をしていく点。さらには、物の移動だけではなく、高齢者や障がい者など人の移動まで含め、物流と交通・移動についての連携を見据えている点。 ○ 人と人のマッチングでは、効率的な運営のためにデジタルを活用するが、デジタルに不慣れな高齢者や障がい者への対応として、電話や代理入力により、利用者の利便性を確保する点。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人や物の移動だけでなく、地域で困っている人と地域に貢献したい人をマッチングさせる共助型の仕組みづくりを構築し、地域住民の困りごとの解決や住民が地域で役に立っているという意識を向上することで、住民の幸福感を上昇する。 ○ 地域交通や地域コミュニティをアップデートし、人口減少や急激な高齢化など社会の激変にも対応したサステナブルな共助型社会を実現する。 ○ 行政は、サービスプロバイダーからプラットフォーマーやコーディネーターへとなり、共助型社会を支える役割へ転換する。 ○ 将来的には、共助に対するお礼や報酬が、デジタル地域通貨・コインなどで、地域で循環していく仕組みを考えていきたい。

注1： 行や列の追加は行わないでください。行や列を拡大していただくのは差し支えありませんが、最大2ページの内で作成をお願いします。

注2： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① 域内市町村の取組で、デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。
(・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災)
- ② 域内市町村の取組で、高齢者、障害者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。

サステナブルな地域コミュニティの構築

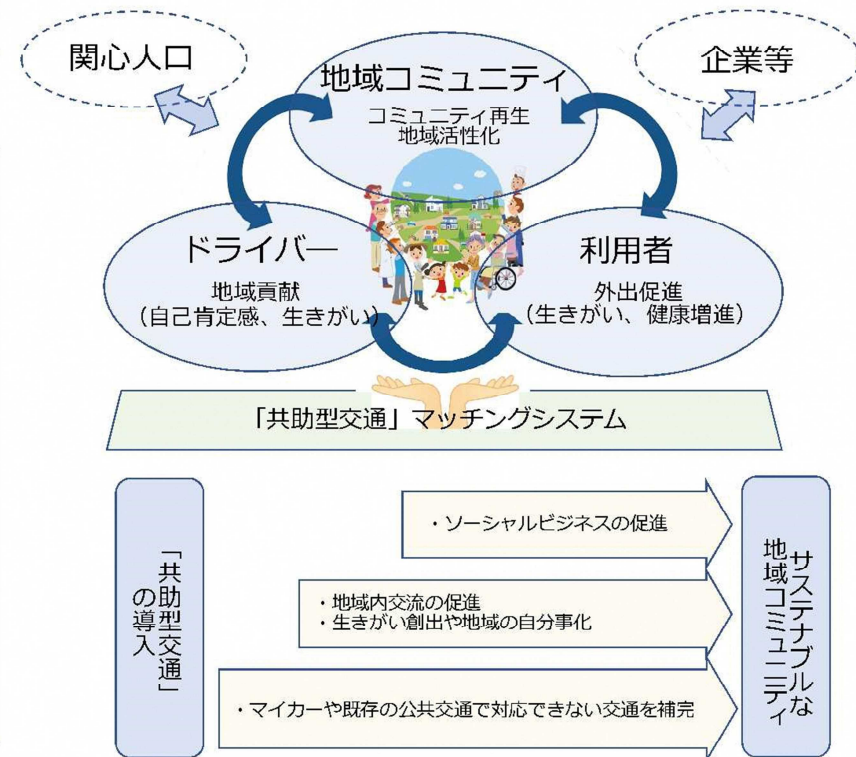
<背景>

人口減少・高齢化の進展により既存の社会システムのアップデートが必要となっている。

<地域交通や地域コミュニティをアップデート>

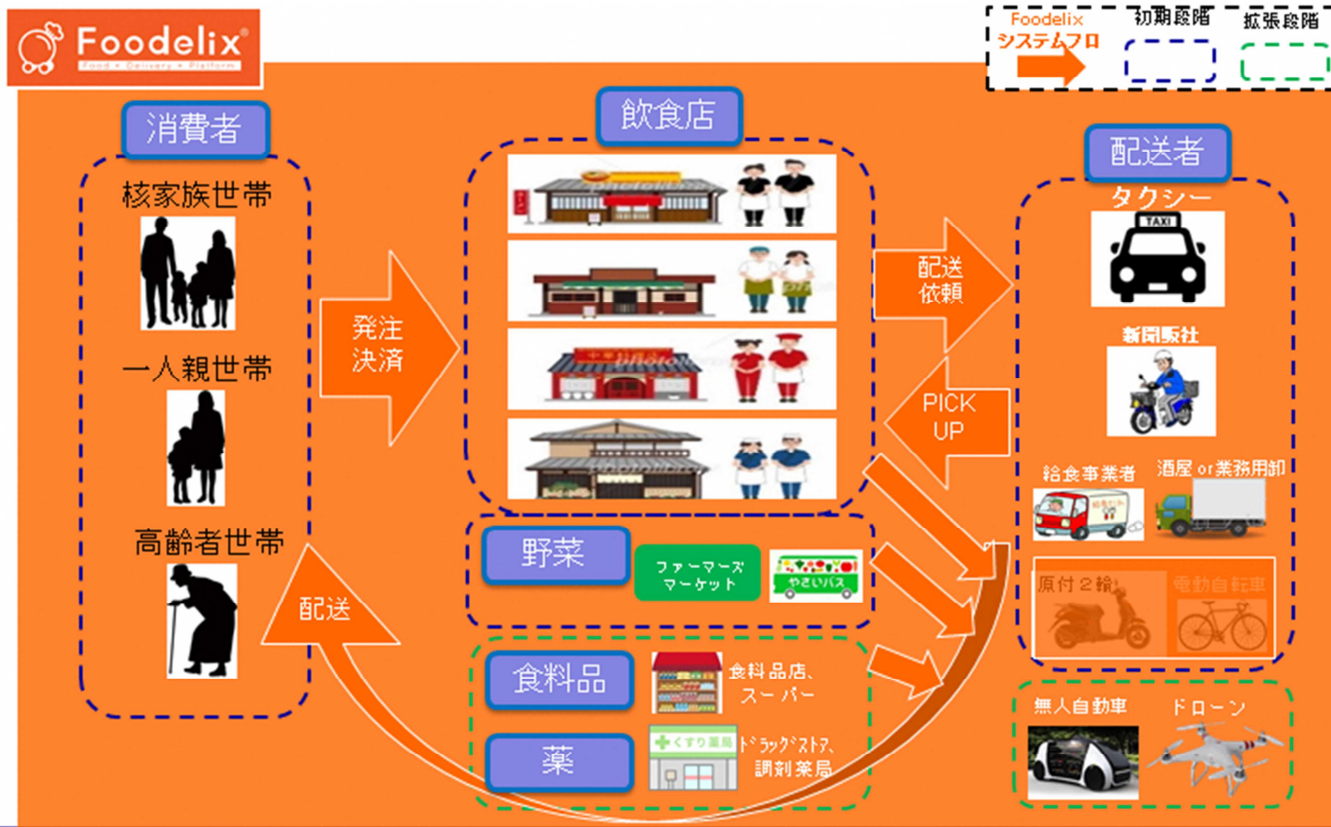
- ①「共助型交通」の導入を機に地域交通を捉えなおす
 - ・マイカーや既存の公共共通で対応できない移動を補完
 - ・地域内交流を促進（コミュニティの再生）
 - ・生きがい創出や地域の自分事化（Well-beingの向上）
 - ・ソーシャルビジネスの促進（地域経済活性化）
- ②共助型交通マッチングシステムは、Society5.0時代のサステナブルな地域社会を支える社会インフラ
 - ・ドライバーと利用者のマッチング
 - ・地域内のコミュニケーションツール
- ③自治体は、サービスプロバイダーからプラットフォームフォーマーやコーディネーターへと転換

地域エコシステム



「デリバリープラットフォーム (Foodelix)」 概要図

<ビジネスモデル>



<タクシー事業者が飲食店で Pick Up>



<タクシー事業者が注文者へ配送>



※令和3年度から民間事業者により自走している浜松市独自のデリバリープラットフォーム。デジタルを活用したサステナブルな共助型社会の実現のため、こうしたプラットフォームとの連携も行っていきたい。